

ギバチ（ギギ科）

学名： *Pseudobagrus tokiensis*

大きさ： 15 cm

特徴： 鱗がなく，体色は黒褐色から茶褐色。側線は肩部から尾びれ基底まで連なる。背びれと胸びれに棘（棘条軟条）がある。尾びれ後縁の切れ込みは浅い。近縁種のギギは尾びれ後縁の切れ込みが深く，頭の形がより細いことで本種とは区別がつく。また，本県の霞ヶ浦水系や利根川水系には，本種に比較的好く似たチャネルキャットフィッシュが分布しているが，本種とは尾びれの形状や体形，体色などで容易に見分けられる（チャネルキャットフィッシュの項を参照）。なお，チャネルキャットフィッシュはギギ科ではなくイクトルルス科の魚である。

国内の分布： 岩手県から富山県あるいは神奈川県までの本州。

県内の分布： 那珂川，久慈川水系，県北地方では十王川などの各河川に分布。霞ヶ浦水系では流入河川で見られる。

県内での生態： 岸沿いに植物の繁茂している場所で比較的好くみかけるが，護岸改修された場所ではほとんどみかけない。夜行性で日中は物陰などに潜んでいることが多い。

備考： 茨城県版レッドデータブックでは危急種に，環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱに選定されている。

主な文献：

霞ヶ浦情報センター研究委員会編（1994）霞ヶ浦の魚たち．霞ヶ浦情報センター，阿見町．167 pp.